

Technopia

浜松工業会浜松支部同窓生の記録



浜松工業会 浜松支部 会報

79号

SPRING 2021

静岡大学 浜松キャンパス
2020年11月7日(土)



司会 本多総務委員長

2020年11月7日 佐鳴会館にて、浜松支部講演会を開催しました。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で浜松支部総会が中止となり、予定していた講演会をオンラインで開催しました。

講演会の様子は、静大TVで見ることができます。浜松支部のホームページよりお進みください。 <https://www.sanaruhama.org>

支部長の挨拶に引き続き、ご来賓として出席いただきました川田工学部長、近藤情報学部長より、大学の近況報告を含めて、ご挨拶をしていただきました。



川田 工学部長

近藤 情報学部長



講師 岩田 静岡大学特任教授

昨年9月に、防災功労者として安倍前首相から直々に表彰されました。

講演会は、岩田静岡大学特任教授(前防災センター長)より、「創造力の欠如にならない防災」をテーマに講演をいただきました。

東日本大震災等での事例を踏まえて、「ハード面での強化とともに、市民力の強靱化で対応力をアップすることが大切である。まれにしか遭遇しない災害をいかに具体的に自分自身でイメージできるかが防災の鍵となる。」とのお話しをしていただきました。

講演会に続いて、講師の岩田先生に加えて、情報学部・竹内先生、NPO 法人はままつ子育てネットワークぴっぴ・原田代表に参加いただき「その時、私たちにできること」をテーマに防災について、貴重なお話を聞くことができました。司会は、浜松支部前総務委員長・富田さんが行いました。



司会(富田)、原田代表、竹内先生、岩田先生

2021年度

浜松工業会 浜松支部総会

開催日

2021年5月15日 土

会場

静岡新聞社・静岡放送 21世紀倶楽部

〒430-0927 浜松市中区旭町11-1 プレスタワー 17階 静岡新聞ホール
TEL (053) 455-2001 FAX (053) 455-2021

※ Zoomによるライブ配信を行います

予定

総会： 14:00～15:00

記念講演会：15:20～17:00

会費

無料

※ 記念講演会は（公財）浜松科学技術研究振興会の支援を受けて科学技術交流会として開催いたします

※ 2021年度の浜松支部総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、懇親パーティは行いません

記念講演会

「無線ネットワークが拓く未来 ～ 5G、 自動運転、車々間通信、センサネットワーク」

講師：石原進 氏 (いしはら・すすむ)



【講演概要】

2020年に5Gモバイルサービスが始まりました。5Gは「高速大容量」「高信頼・低遅延通信」「多数同時接続」を特徴とする新しいモバイル通信の規格で、VR、遠隔医療、ドローン制御、自動走行など様々な応用シナリオが描かれています。5Gだけではなく、近年は無線LANのますますの高速化が進んでいる他、LPWAなど様々な新しい無線ネットワーク技術が登場しています。本講演では近年の無線ネットワーク技術の動向を紹介するとともに、自動運転や安全運転支援、都市インフラ維持管理に関する無線ネットワークの応用と研究事例を紹介します。

【石原進 プロフィール】

静岡大学大学院工学領域教授。博士（工学）。1999年名古屋大学大学院博士後期課程修了。同年静岡大学情報学部助手、2001年同大工学部助教授を経て2018年より現職。2008年カリフォルニア大学アーバイン校訪問研究員、2014-2015年カリフォルニア大学ロサンゼルス校訪問研究員。専門は無線アドホックネットワーク、車々間ネットワーク、センサネットワーク。近年は車々間通信による安全運転支援、災害時避難支援のためのDTN技術、浮流無線カメラを使った下水道検査技術を主たるテーマとしている。電子情報通信学会センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究専門委員会委員長。著書「コンピュータネットワーク概論」「シミュレーション」（以上、共立出版）「コンピュータネットワークの運用と管理」（ピアソンエデュケーション）、翻訳「802.11無線ネットワーク管理」（オライリー・ジャパン）

申込
方法

メールにて【回答フォーム】の内容を記載していただき、下記宛先までご送信ください。

記念講演会は、ご家族・ご友人・同僚など一般の方も、浜松支部会員ご同伴のもとでご参加いただけます。お申込みはお早めをお願いします。

お申込み締切日：2021年4月16日(金)
浜松工業会組織委員会メールアドレス

soshiki01@sanaruhama.org

【回答フォーム】

- ①ご氏名：
- ②卒年度：
- ③卒学科：
- ④総会：参加 又は 不参加
- ⑤記念講演会：参加 又は 不参加
- ⑥ご同伴の記念講演会の一般参加者人数：
- ⑦参加形態：会場 又は Zoom参加

静岡大学ABP留学生支援の寄付金集めを行う為に、静岡大学の副学長や担当の先生方と浜松地域のいくつかの中小企業を訪問したことが、留学生と関わるきっかけでした。

私は、以前Uターン相談室の委員として活動していました。そのUターン相談室の顧問であられた故影山静夫先生(静岡大学名誉教授)がお亡くなりになる前に「竹内君、Uターン相談室は必ず存続させなさい。」と私の耳もとで託されました。その真意は容れ物を残すことではなく中身を残すことです。Uターン相談室の根本理念は困った状態の同窓生を助けたいという精神に他なりません。今回のコロナ禍の中で多くの静岡大学ABP留学生は困っています。卒業してからも就職できずにいる留学生もいます。Uターン相談室を辞めた後も故影山先生から託された遺言に含まれる真意を忘れることができず、色々と模索し、チャレンジする中で、留学生の人道支援・人財育成活動を行うに至りました。即ち、窮地に陥ったABP留学生を人道的に救済することです。

最初に『ハートリンガル』

<https://www.heartlingual.org/>を2019年12月に設立しました。代表者には母親としての存在観があり英語が堪能な西野恵子さんをお願いして、まずはコロナショックの直前の2020年3月に市民と留学生との文化交流として「きものリンガル」を企画し開催しました。この「きものリンガル」をきっかけに関わったのが、コロナショックを受けてどん底に落ちていたスリランカ出身、当時35才で3才のお嬢さんがいる留学生(修士;ナノマテリアルの研究者)の就職支援でした。その後、ポスドクのインド出身の留学生の就職活動の為に研究室の教授より突貫で日本語教育を行うよう依頼され、西野代表により9月には日本語が通じなかったのが12月のはじめには日本語能力試験においてN3に合格するまでになりました。



「きものリンガル」にて

ただ、アルバイトのために土日や夜間でなければ日本語を学ぶ時間が取れませんでした。そこで私は、土日や夜間でも日本語を学ぶことができる環境を作るため留学生人道支援相談窓口としてNOBELPORT『ノーベルポート』を立ち上げました。

『ノーベルポート』は、静岡大学浜松キャンパスの学生諸君と静大生との文化交流を求めている市民の皆様が大学内にて活動できる場を提供させていただき、交流の懸け橋となることです。活動の場所を浜松工業会から了解していただき佐鳴会館を借りることができました。その活動は留学生の為の時間外日本語勉強会の場の設定役としてスタートしましたが、ノーベル賞へのチャレンジ精神を植え付けることができる教育プログラムを学生と共に作り上げて行ければ良いと考えております。

ウイズコロナの世界ではそれぞれの国々が生き残りを掛けて、知恵を絞り出し、新技術開発に力を入れますので、留学生には高度な頭脳と人間力が今まで以上に求められると思います。研究者を目指す学生は、国籍の如何を問わず、至誠心と創造的な頭脳をもって世界を正しく牽引しなければならないのであろうと思います。

以上のことに私が尽力することが、影山先生の大きな御遺志に沿うことであると考えておりますので、心ある皆様のご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

100周年記念事業

静岡大学浜松キャンパス 100周年記念事業へのご寄付のお願い

事業推進委員会会長：石井 潔
(静岡大学長)

事業推進後援会会長：草間 三郎
(元セイコーエプソン(株)社長)

実行委員会委員長：川田 善正
(工学部長)

日頃より、浜松支部の皆様には、浜松工業会の活動にご支援・ご協力いただき、誠にありがとうございます。
さて、静岡大学浜松キャンパスは、2022年に工学部の前身である浜松高等工業学校設立公布から設立100周年を迎えます。この100周年を記念して、未来を志向した教育・研究、産学官・社会連携を強化するため、1)卓越した研究開発人材育成、2)静大ブランドの研究者育成、3)ものづくり産業をリードする人材育成や、4)記念誌出版の計4事業の取り組みを行っています。

つきましては、これらの事業への協賛・ご寄附を宜しくお願い申し上げます。

○募金目標金額：10億円

○募金期間：2018年4月～2023年3月

○ご寄附：1,000円以上で金額随意

○事業の特設サイト(<https://www.shizuoka.ac.jp/hamacam100/>)をご覧ください。静岡大学未来創成基金「【特定基金事業】静岡大学浜松キャンパス100周年記念事業」としてのご寄附をお願いします。

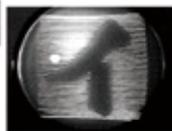
静岡大学浜松キャンパス100周年記念事業

■ 沿革：

- 1922年 浜松高等工業学校設立公布
- 1923年 浜松高等工業学校設立
- 1927年 浜松工業会創立
- 1949年 静岡大学工学部設置
- 1950年 静岡大学開学
- 1965年 電子工学研究所設置
- 1995年 情報学部設置
- 2006年 創造科学技術大学院設置
- 2013年 グリーン科学技術研究所設置
- 2018年 大学院光医学研究科開設
- 2022年 開校 100周年



高柳健次郎先生



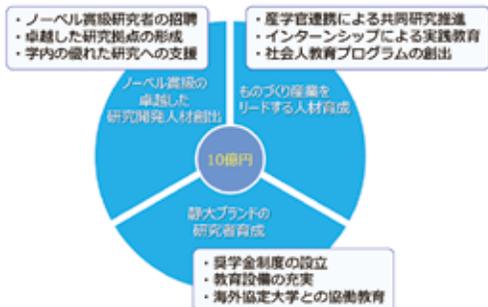
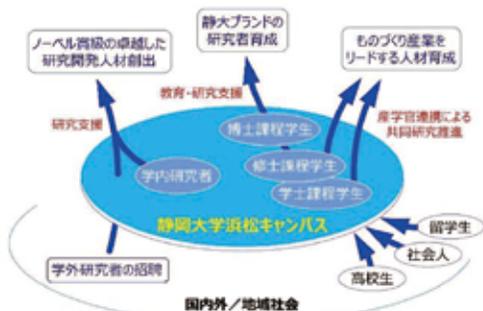
世界最初の電子式
テレビジョン

■ 事業 骨子：

- ・卓越した研究開発人材創出
- ・博士課程学生の研究・教育支援
- ・ものづくり産業をリードする人材育成



8Kスーパーハイビジョン
(8Kイメージセンサ)



静岡大学浜松キャンパス正門を入ってすぐ右(北側)の電子工学研究所棟は、1964年の竣工から50年以上が経過し、老朽化が顕著になっていました。幸いなことに、建て替えが認められ、現在建て替え工事が行われています。

旧棟の南側約4分の3を取り壊し、新棟建設の工事がⅠ期とⅡ期に分かれて、すすめられています。Ⅰ期工事はすでに終了し、2020年3月からⅡ期工事が行われています。2021年の2月末には、光創起イノベーション研究拠点棟、電研棟Ⅰ、Ⅱ、旧電研棟の4棟がつながった電研の新研究教育施設が完成します。既に外側の足場が取れて外観を見ることができます。

図1に電研の新棟の完成予想図を示します。Ⅰ期棟(総床面積:1,783m²、5階建て)は、西隣の光創起イノベーション研究拠点棟と渡り廊下で接続されています。続くⅡ期棟(総床面積:2,090m²、5階建て)はⅠ期棟から続き、北側の電研旧棟(3階建て)までの各階で接続されます。これにより、光創起イノベーション研究拠点棟から電研旧棟まで、4棟が一続きになり、行き来できるようになります。



図1 電研の新棟の完成予想図。

左側、一番奥が光創起イノベーション研究拠点棟、電研棟Ⅰ、Ⅱ、3階建は旧電研棟。



図2 Ⅱ期工事の前の光創起イノベーション拠点棟と電研Ⅰ期棟。

図2にⅡ期工事の前の、光創起イノベーション研究拠点棟と電研Ⅰ期棟の写真を示します。左が光創起イノベーション研究拠点棟で右が電研Ⅰ期棟です。



図3 東側から見た、電研のⅡ期棟。

図3に東側から見た、電研のⅡ期棟の写真を示します。左側のⅠ期棟に接続されている。

図4に、西側から見た、電研のⅡ期棟の写真を示します。左側は、電研旧棟に接続されている。



図4 西側から見た、電研のⅡ期棟。

電子工学研究所は、文部科学省の共同利用・共同研究拠点です。そのため、新棟には共同利用・共同研究に訪れた外部の研究者のための研究員室、外国人客員教授室などもあります。



図5 正門から見た電研棟。

図5に示すように、電研棟は、浜松キャンパスの正門に一番近いところにあり、浜松キャンパスの顔です。研究も浜松キャンパスの顔となるように、所員一同頑張っていきたいと思っています。

ホームページ制作活動ものがたり

浜松支部で運営中の結婚相談室は、OBの奥様が相談員として活動を進めており、その歴史も古く、40年を越えました。相談室はアットホームな雰囲気と、両家の絶妙なバランス調整による昔ながらのお見合いの良さが好循環を呼び、これまでに多くのカップルを誕生させてきました。



そんな歴史ある活動に、新風を吹き込んだのは、2014年度の情報学部3年女子達でした。彼女らは、ゼミの課題で「若者の晩婚」に取り組み、西原先生の紹介から結婚相談室の存在を知り、取材に来てくれました。



彼女らは、「結婚」の良さに改めて気づかされた様子で、この素晴らしいシステムを是非多くの方々に活用して頂きたいとの願いから、若者が親しみ易いホームページ制作を提案し、ページ構成の原案を作ってくれました。

しかし、当時3年生だった彼女らは、秋から冬に掛けて進路に向けた活動が増え、ホームページの作成は困難になりました。ここに、同学部1年の女子(Tさん)が手を挙げてくれたのです。彼女はほぼ一人で詳細なページ構成を考え、現在運営中のシステムの大半を2014年度の末までに完成させてくれました。



その後、このホームページの委員会を立ち上げ、会員企業の方々や現役学生の方たちと、毎月1回のペースで会合を開き、改定や運営を行っています。時々には親睦会などで歓談する場もあり、楽しく続けられています。



本年度、コロナ禍にも拘わらず、ホームページ効果と相まって、カップルが誕生しました。現在、会員加入のお問い合わせが増えており、新規相談員を募集しています。OG、又はOBの奥様方で相談員としてお手伝いをして頂ける方は下記HPよりご連絡ください。一同お待ちしております。



浜松工業会結婚相談室ホームページ
<https://kekkon.sanaruhama.org/>

2020年の活動を振り返って

1. コロナ禍を見据えて

コロナ禍でも活動は、休止したくありません。しかし、今まで通りとは行きません。企業訪問、申し込み者対応、どれをとっても「密」を避けなければならず、色々と検討を重ねた結果、下記のことに取り組みました。

「協力企業様へのアンケートの実施」

企業様への訪問は、企業様とUターン相談室の相互の情報交換を目的として、年間を通しての重要な活動です。しかしコロナ禍では、各企業様においても不要不急な面会は避けるというのは当然の動きとして考えられました。そこで各企業様にアンケートを行い、情報交換の方法について3つの提案をし、希望を聞くことにしました。

まずオンライン(Zoom、Teams、LINEなど)を使う方法、次にEメールによる方法、そして従来通りの訪問による方法です。結果として、28社へアンケートを実施した中で16社から回答がありました。

今回の回答結果を踏まえ、まずはEメールでの問いかけをベースとし、その会話の中で希望を聞きながら、オンライン面談や直接お会いできる場合は訪問をさせて頂くことにしました。

2. 初めてのオンライン面談実施

2020年9月25日、初めてのオンライン面談を実施しました。今回は東京からの申し込み者で先方も仕事でオンラインツールを使う機会が多い方で、開始までは比較的問題なく準備ができました(ツールはTeamsを使用)。

オンライン面談を開始して好調な滑り出しと共に約1時間に渡り面談できました。Eメールとオンラインを上手く組み合わせれば、遠方の申し込み者にとってもハードルが低いものになります。

今後の課題としては、スタッフ自身がオンラインに慣れることが重要であると共に、コロナ禍でも気軽に相談できる事をPRして行く必要があると感じました。

3. 協力企業様のご意見

2020年後半に企業訪問した記録(5社)から、その会話の中で、企業様が求めている人材像について紹介します。

技術系の人材(機械・電気・電子など)、会社の成長のために一緒にやってくれる人材、何でもできる人材、人材育成力の弱い部分をカバーしてくれる人材、若い人を育てられる人材などが必要というご意見を頂きました。ある企業では、本人次第で年齢はこだわらないという意見もありました。今後もこれらのリアルな声を会報誌やホームページを通して伝えていく必要があると感じました。

4. 近況情報：学生からの依頼への対応

活動では次のような余禄もありました。

工学部、情報学部、文化芸術大学の学生が「Nokin.」という学生クリエイター集団を作り、学業で得た知識(デザインやシステム開発、その他企画など)を活用して、学生目線での地域活性化に貢献する組織構築への取り組みを進めています。

そのメンバーの学生が当相談室に面談を求めて来ました。説明を聞き、充実した取り組み内容と熱意ある姿勢に共感しました。説明の後に「地元中小企業の社長さんとお話したいので紹介してほしい」との依頼がありました。かねてより、協力企業様から「学生さんとの接触の機会が欲しい」と望まれていたので企業様と連絡を取り、面談の運びとなりました。本面談により双方の理解への第1歩を進めることができました。これからも何人かの社長様との面談を進め、そこから得る諸情報により彼らがどのように歩みを進めていくか楽しみです。

5. 今後の活動で重視したいこと

- ①卒業生、在学生に対して、「母校にはUターン相談窓口がある」をPRして行きます。
- ②大学行事への協賛も継続し、さらにホームページの改善等により企業様の声を伝え、相談者から気軽に問い合わせ頂けるような環境整備を進めて行きます。
- ③オンライン面談を積極的に活用していきます。
- ④Uターン相談室メンバーを募集中です。私たちの活動に賛同、ご興味をお持ちの方は、是非お声がけください。

ごあいさつ

日頃よりヒコーキ部へご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。ここからは、ヒコーキ部の活動について紹介させていただきます。

数年間の記録と目標

2018年、静岡大学ヒコーキ部は8年ぶりに「鳥人間コンテスト」の舞台へ立つことができました。しかし、台風接近による悪天候により、競技不成立。プラットホームへ登ったものの、不完全燃焼を遂げ、涙をのみました。そして挑んだ2019年。先代の悔しさを胸に、女性パイロットが272mという記録を刻みました！そして、2020年。新型コロナウイルス感染症により大会が中止に。誰のせいにもできない状況で、ただ悔しさだけが残りました。

しかし、悔やんでばかりはいられません！活動を休止していた分、部員たちは例年よりもさらに厳しい状況の中、全力で機体製作に取り組んでいます。目指すは2021年の「鳥人間コンテスト」！琵琶湖の空に静岡大学ヒコーキ部の機体を飛ばすことを目標に、日々活動に励んでいます。

皆様をお願いいたします

ヒコーキ部では本年度の工学部からの支援金がなく、部品の使いまわしなどによる経費削減を行っております。しかし部費の確保が難しく、活動を継続することが厳しい状況に直面しております。そこで皆様からの支援をお願いいたたく存じます。詳細につきましては、下記メールアドレス、または浜松工業会浜松支部へご連絡いただけますと、幸いです。

静岡大学ヒコーキ部(担当: 森田)

shiz.u.airplane.c@gmail.com



富士川滑空場での試験飛行の様子

会費は支部活動の 大事な財源です

趣味の会 会費納入のお願い

「佐鳴ゴルフ会」「ニュー佐鳴会」会員募集

佐鳴ゴルフ会は、毎月第3日曜日浜松カントリークラブで開催しています。
浜松支部のゴルフ同好会の一つであるニュー佐鳴会は現在25名のメンバーから構成されています。毎月第3日曜日に豊岡国際ゴルフカントリーにて例会を開催しています。
年齢層は80代から30代と幅広く先輩後輩和気藹々とゴルフを楽しんでいます。
9月には合同コンペを隔年ごとにホームグラウンドを変えて開催しています。
近年高齢者が多くなり、新しい会員の募集をしています。浜松支部の皆さんの入会を期待しています。

佐鳴ゴルフ会 会長 鈴木 秀治 ニュー佐鳴会 会長 山田 恵敏
shu-suzu@mail.wbs.ne.jp keibin19@ybb.ne.jp

佐鳴グリークラブ

静岡大学OBグリークラブの母校支部の約20人がメンバーです。工学部以外に文理学部、教育学部もいます。
浜松工業会総会や静岡県合唱祭等があると、グリー関東支部や関西支部から応援が駆けつけ出演します。2018年8月のリトアニアとの親善合唱交流会も約30人が参加しました。合唱未経験者でも大丈夫です。団員募集中です。

佐鳴グリークラブ 会長 深津 勲己

支部会費納入のお願い

浜松工業会浜松支部の活動費は、会員の皆さまに納入いただいた会費で賄っています。支部活動を維持活性化するために、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。会費の納入方法等は以下のとおりです。

(1)会費 1500円/年

(2)納入方法 以下の3つの方法のどれかで納入してください。

①郵便振込み【土日(9:00~17:00)も、ゆうちょ銀行ATMで振込できます】

口座番号:00890-5-4382

口座名 :浜松工業会浜松支部

*振込料金加入者負担(赤色)の用紙をお使い下さい。

*郵便振込手数料は浜松支部負担。

②静岡口座への振込み

銀行名 :静岡銀行 成子支店(店番:363)

口座番号:普通0137545

名義 :浜松工業会浜松支部 会計幹事

*銀行振込手数料は、ご負担をお願いします。

③現金

勤務先の浜松支部役員(企業幹事)に現金にて納入

企業幹事の方は、企業単位でまとめて、①または②で納入をお願いします。

(3)浜松支部会費に関する問い合わせ先(上記以外の納入方法をご希望の方など)

浜松支部 副支部長 会費委員長 伊藤 吉泰

E-mail:kaihi01@sanaruhama.org



編集
後記



新しい生活様式が定着し、リモートワークやマスクに慣れてきた方もいらっしゃるのではないでしょうか。ゴルフやテニス、釣りなら大丈夫かなと思いアウトドアに勤しんでいます。一生懸命、前向きに考えていますが、やっぱりコロナの無い世の中が待ち遠しいですね。

(記 広報委員長 澤井 秀明)

お楽しみに

浜松工業会 結婚相談室

静岡大学浜松キャンパスの同窓会が運営しています。
知る人ぞ知る、私たちの特徴3つをご紹介します！

活動場所：静大浜松キャンパス佐鳴会館

日時：毎週金曜（最終週土曜）13:00から15:00

お問い合わせ：053-473-3485 [HP]<https://kekkon.sanaruhama.org/>



1

紹介制度で安心

静大関係者の紹介のみによる確かな会員制度で安心。これまでにトラブルが発生したことはありません。

2

親身な対応

1組に1人以上の相談員が担当につくので、安心してご相談できます。もちろん、相談員一同が親身にサポートいたします。

3

リーズナブル！

入会時 1万円(2年有効)
更新料 5千円
紹介やお見合いの申し込みは何度でも無料！！

利用者の声

「私たちは、今最高に幸せです！」
「迷っている方は、まづ申し込みを」

企業

Uターン
希望者

Uターン
相談室

Uターン相談室とは？

Uターンを希望される
浜松工業会会員の皆様の
相談窓口です。

詳しくは浜松工業会誌
「佐鳴」またはホームページ
をご覧ください。

ホームページはこちら
<https://www.neotechnopia.com/>
メールでのご相談はこちら
ztsanaru@shizuoka.ac.jp



発行

浜松工業会 浜松支部
〒432-8561 浜松市中区城北3-5-1
静岡大学浜松キャンパス内 佐鳴会館
TEL/FAX 053-473-3485

浜松工業会浜松支部
公式ホームページ

<https://www.sanaruhama.org/>

